

部活動・同好会入部の勧め

部活名	部員数	一年生 募集有無
ESS	38(?)	21
アーチェリー	x	x
囲碁将棋	9(0)	2
合唱団	13(5)	10
漢研	60(31)	30
ギター	41(21)	12
弓道	24(10)	9
軽音	55(20)	21
剣道	17(5)	9
ゴルフ	32(12)	8
コン研	17(0)	7
茶道	7(6)	2
柔道	7(1)	2
植研	45(22)	22
水泳	30(15)	10
スキー	16(5)	5
生研	58(16)	20
製剤	39(15)	18
卓球	21(5)	8
男軟庭	23(0)	11
ダンス	35(22)	13
バスケット	29(11)	12
バトミントン	32(?)	12
ハルモニア	101(51)	32
微研	60(29)	31
美術	14(7)	1
漫研	16(4)	8
モダンJAZZ	44(22)	25
やきもの	40(30)	11
有機	64(35)	24
ラグビー	26(8)	6
ラクロス	14(14)	3
陸上	24(9)	8
ワンベル	22(10)	10

()は、女子の数を示す

入学式から早二ヶ月が過ぎた。既に、部活や同好会などで活動を始めている人も多いことだろう。その一方で、まだどこにも所属していない人もいることと思う。今回、新聞会では部活や同好会にアンケートを配布し、活動内容や一年生の入部状況などを調査した。特に毎年注目される部員の男女比・新入生数・部員募集に関して左の図にまとめてある。興味のある人系統別に分類すると、運動系は活動日が決まっている所が大半で、特に水曜日と土曜日の午後からグラウンドや体育馆で活動している。主に医歯薬系リーグや全国大会予選などに出場し、上位を目指して頑張っている。興味のある人は、一度見学するといいだろう。文化系においては葉祭での発表はもちろんのこと、それ以外の場においても発表の機会があるので、それを目標に精力的に活動している。しかし、通常は部室で活動しては、一度見学するといいだろう。文化系においては葉祭での午後からグラウンドや体育馆で活動している。主に医歯薬系リーグや全国大会予選などに出場し、上位を目指して頑張っている。興味のある人

は活動日が決まっている所が大半で、特に水曜日と土曜日の午後からグラウンドや体育馆で活動している。主に医歯薬系リーグや全国大会予選などに出場し、上位を目指して頑張っている。興味のある人

ら、今年の一年生は音楽系、学術系サークル、文化系同好会に多くの流れ込んでいる傾向があるといえる。

Q. 本学の教授就任に際し抱負をお願いします。

A. 研究に関しては、自分が教室を主宰するようになつたからには、今まで心の中でおいて研究成績を発表したことがある団体もあり日々意欲的に活動している。いくつかの団体では活動日や活動内容に関しては特に細かい取り決めがなく、時間のあるときに部室に行き、同じ趣味を持つもの同士の交流を目的として活動している。また、部員同士の交流をより深めるため、長期休暇中には、学外活動の一環として合宿や旅行を企画と、それぞれ特徴のある活動を行っている。

Q. これまでに経験したことのないことがなく、時間のあるときに部室に行き、同じ趣味を持つもの同士の交流を目的として活動している。また、部員同士の交流をより深めるため、長期休暇中には、学外活動の一環として合宿や旅行を企画と、それぞれ特徴のある活動を行っている。また、新聞会のホームページに回答して頂いた全ての部

Q. 以前は医師をなさつて、いたのですが、なぜ、医師として台頭するのも良いだろう。あなたにとって最高の居場所が、自分の新たな一側面と共に見つかるかもしれません。まだどこにも所属していない人や、兼部を考えている人

Q. 最後に東葉生に一言お願いします。

A. 薬学の勉強は、将来、就職した時に最低限必要になることがあります。だからこそ、暖めていたテーマを研究していきたいと思っています。また、学生の教育（学部学生）に関しては、2年生の機能形態を担当しています。現在、一環として合宿や旅行を企画と、それぞれ特徴のある活動を行っている。また、新聞会のホームページに回答して頂いた全ての部

Q. 教授の研究内容を教えてください。

A. 私が興味を持っているのは神経科学です。複雑な脳の構造に対し、グリア細胞と神経細胞の相互作用がどのように作用するかが興味です。

Q. 教授の研究内容を教えてください。

A. まず、この研究をするには、生物情報科学という観点から見直していかうと考えています。これは、DNA・蛋白質の構造を調べます。

Q. 生物情報科学という観点から見直していかうと考えています。これは、DNA・蛋白質の構造を調べます。

研究室新任教授に聞く

肥後順一 教授

ことで、その機能や、構造の原理の研究をしていました。

Q. 実際、医学部を卒業し

今年度から生命科学部生物情報科学研究室に肥後順一教授が就任された。これに伴い、Q. 本学教授就任に際しての抱負をお願いします。

A. まだ具体的な中身が想像できない状況ですが、研究室の主催者としてただ研究のみに目を向けるのではなく、分だと考えています。それ以外のことにも気を配ることの必要性を感じています。

A. まだ具体的な中身が想像できない状況ですが、研究室の主催者としてただ研究のみに目を向けるのではなく、分だと考えています。それ以外のことにも気を配ることの必要性を感じています。

A. 以前は、DNAや、蛋白質などの生体高分子の動きを計算機を使用し、予測する

A. 以前は、DNAや、蛋白質などの生体高分子の動きを計算機を使用し、予測する

A. 以前は、DNAや、蛋白質などの生体高分子の動きを計算機を使用し、予測する

